

---

# 神からの挑戦状

マロウ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

神からの挑戦状

### 【Nコード】

N7596J

### 【作者名】

マロウ

### 【あらすじ】

友達と帰る何時も通りの日常。だがその日常はある一つの会話によって魔法のある異世界へと飛ばされてしまう。

彼らは元の世界へ帰る為に長く危ない帰路につくことに。果たして彼らは……。

## きっかけ

蝸の鳴き声が所々から聞こえる。

まだ夏の暑さの残る今は秋。そしてここは日本。

残暑に腹を立てているのは主人公、サクライユウリ桜井遊梨。東京都の某所に住んでいるどこにでもいる中学三年生。

今オレ達は三日目のテストを終えて、三人の友達と帰っているとるだ。

「この後どうするよ?」

この声はマツオカカケル松岡翔。こいつは友達の一人でオレの幼少の時から友達、  
というか親友だ。

「とりあえずそこら辺にあるファミレス入って落ち着かない?」

もう一人の友達、ミネカミレイナ水上零奈が疲れきった顔と声で提案する。

この友達も翔と同じ幼なじみだ。  
親友だとオレは思っているが、零奈はどう思っているのかわからない。

「オレはいいけど、二人は?」

オレはそう返事を返し他の二人に聞く。

「こっちも問題なし」

「僕もいいよ」

翔ともう一人の友達、モリヤツバキ守夜椿から返事が返ってくる。

椿は小学三年生からの付き合いだ。

こいつの家は相当な金持ちでこの前夕ヒ子島に別荘を構えたらしい。恐らくこいつも親友である。

椿はどう思っているかわかんないけど。

「それじゃ決まりだな」

「そうね、どこら辺にする？」

「そういえば駅前在最近出来た店があったよな、そこに行こうぜ」

遊梨がパツと思い出した店に行こうと声をかけると翔は少し不満そうに言った。

「よし、なら多数決だ」

多数決をした結果三対一でここから歩いて五分の駅前の店へ行くことになった。言わずもがな一は翔である。

皆が楽しそうに話しているなかで、唯一反対していた翔はあまり機嫌が良さそうじゃなかった。

きつと翔はこの後に起こる出来事が心の何処かでわかっていたのだらう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7596j/>

---

神からの挑戦状

2011年1月27日07時48分発行